

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
http://saitokuji.tobihiro.jp/  
発行人 脇阪 義幸  
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263

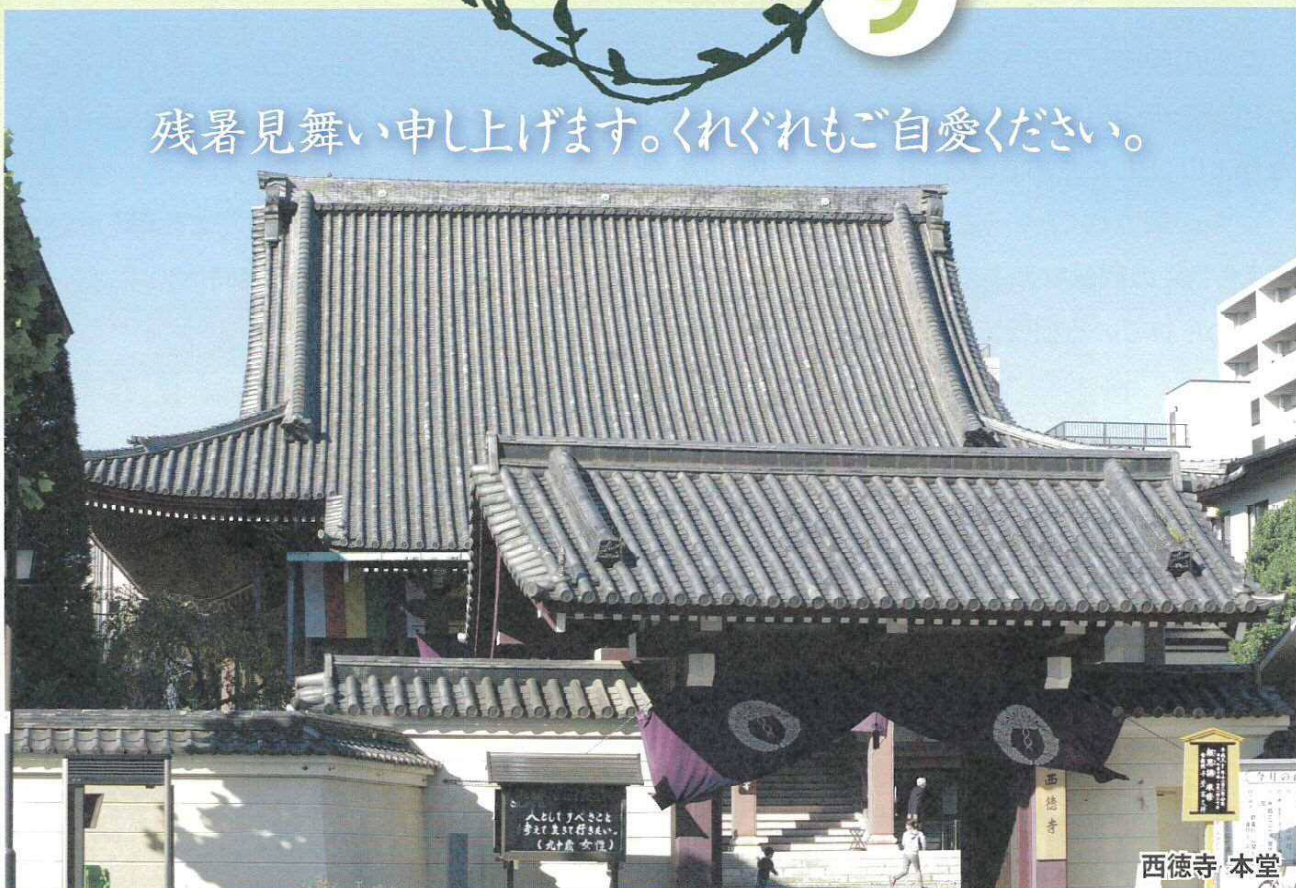


令和元年  
9月号

暮らしの中の仏教

墓石への法名刻みはお問い合わせください

残暑見舞い申し上げます。くれぐれもご自愛ください。



西徳寺 本堂

寛永5(1628)年、金助町(今の文京区本郷あたり)に創建。承応3(1654)年、初代住職善如の頃、佛光寺派の触頭を勤める。  
○ 天和3(1683)年、現在の地に移転。明治以降、佛光寺門跡寺院を称することとなった。  
「<sup>ふれがしら</sup>触頭」とは? 詳しくは3頁へ!!

## 今月の予定

1日(日)	午後2時	「燈炬会」布教大会
7日(土)	午後3時15分 午後6時	混声合唱団「エコー」練習 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く 法話:高橋 淳
11日(水)	午後1時半	婦人会聞法会
13日(金)	午後1時半	『歎異抄』に聞く 講師:宗 正元師
14日(土)	午後1時半	定例聞法会
17日(火)	午後7時	仏教青年会『歎異抄』に聞く 講師:宗 正元師
20日(金)~26日(木)		秋季彼岸会
22日(日)	午後1時半	秋季永代経法要
28日(土)	午後3時15分	混声合唱団「エコー」練習
29日(日)	午前10時	台東区合唱祭「エコー」出演



## 9月の山門の言葉

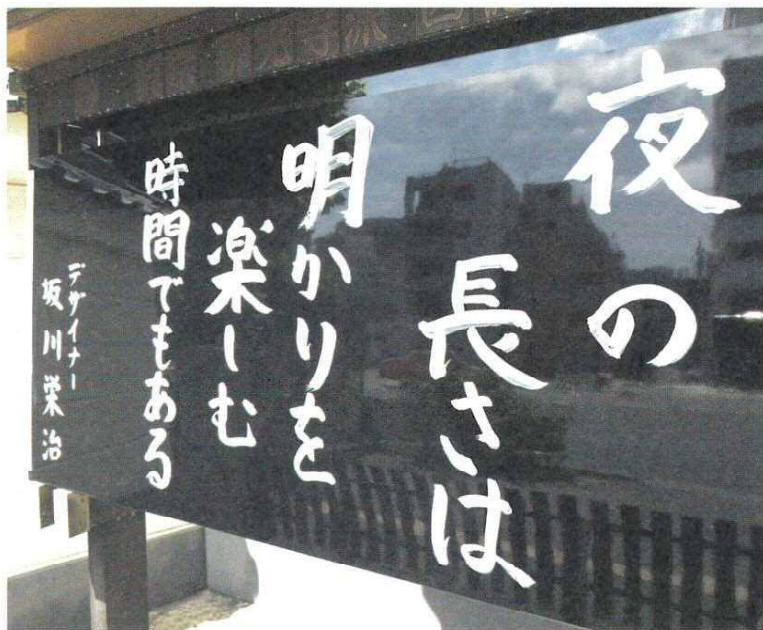
### いってみりゃ 私らは和え物の材料ですから 樹木 希林

話題の映画、「万引き家族」を最後に七十五歳でこの世を去った名優の名言である。武者小路実篤の色紙を思い出す。一枚の色紙に、カボチャ、なす、ジャガイモ、にんじんなどを描き、左肩に「されどなかよし」としたためている。

一つの鍋で炊くということ、和えるということは、それぞれの持ち味を保ちつつ、そこに醸し出されるえも言えぬ醍醐味がある。自己主張のない、共同体の中に生まれてくる味。我々共同体の中でもっとも求められている根幹ではないだろうか。

(大谷 義博 記)

えこおファイル在庫あります。



八月に掲げた山門の言葉  
「夜の長さは明かりを  
楽しむ時間でもある」  
を皆さんはどう聞いたのが、  
お尋ねしました。



私は  
こう聞いた!!

小さい頃に、父の故郷の新潟で見た、ホテルの群れを思い出しました。  
(60代 男性)



松葉、柳、散り菊。夏の夜を彩る花  
火たち。線香花火を楽しむと、すぐに  
火の玉が落ち、暗がりになる。目先の  
灯りはやがて儚く消えてしまうけれど、  
光は確かに私を照らしてくれている。  
(60代 女性 坊守)



今の自分を振り返ってみると、明かりを楽しむ余裕がない。  
夜の時間の意味を考える発想がない。子供の頃は毎日、  
もっとワクワクしていたような気がする。  
いつからそうなってしまったのか。限りある人生、忙しい  
日常や思い込みにとらわれず、もっと本質を楽しみたい。  
(50代 男性)





今回は江戸時代に任命された<sup>ふれがしら</sup>触頭を取材してきました。

### そもそも触頭とは・・・

江戸時代に江戸幕府や藩の寺社奉行の下で各宗派ごとに任命された特定の寺院のこと。本山及びその他寺院との上申下達などの連絡を行い、地域内の寺院の統制を行った。

室町幕府に僧録が設置され、諸国においても大名が類似の組織を置いて支配下の寺院の統制を行ったのが由来である。寛永13(1635)年に江戸幕府が寺社奉行を設置すると、各宗派は江戸もしくはその周辺に触頭寺院を設置した。幕藩体制における寺院・僧侶統制の一端を担った。(Wikipedia参照)

約60カ寺ある内、今回は西徳寺を含む真宗6カ寺に絞って調査してみました。今月号は真宗高田派の3カ寺を掲載します。

ゆいねんじ

### 唯念寺 (東京都台東区元浅草2-11-3)

天文15(1546)年、武蔵国品川郷にて草創。その後天正18(1590)年、日本橋馬喰町へ移転。明暦3(1657)年の火災(振袖火事)によって唯念寺も焼け落ち、幕府の復興計画によって大幅な配置換がなされた。それによって唯念寺は現在の地に移ることとなった。(唯念寺史参照)

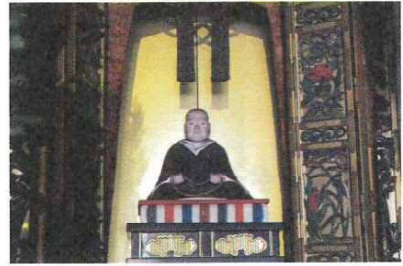
徳川家とも関係があり、当時は約3千坪を有しており、別院格、触頭としての責務を担っていたそうです。



本堂



阿弥陀如来立像 (区指定有形文化財)



親鸞聖人座像

しょうねんじ

### 称念寺 (東京都台東区元浅草3-18-2)

慶長3(1598)年、江戸<sup>おぎ</sup>称宜町(現在の日本橋堀留あたり)にて草創されたといわれている。明暦の大火の後現在の地へ移転した。唯念寺、澄泉寺と共に江戸三カ寺といわれ、高田派の分院格、触頭として塔頭5カ寺を擁していた。(浅草區史参照)



本堂



阿弥陀如来立像



親鸞聖人座像 (区指定有形文化財)

ちようせんじ

### 澄泉寺 (東京都港区赤坂1-11-3)

元和元(1615)年、武州豊島郡江戸<sup>さくら</sup>櫻田(現在の櫻田門、警視庁のあたり)にて草創。その後寛永3(1626)年、江戸城の拡張工事にあたり、幕府の命令によって現在の地に移転する。

関東大震災で全焼するも阿弥陀如来木立像、親鸞聖人木坐像、聖徳太子孝養木像を護り、今日に至るそうです。



本堂



阿弥陀如来立像



親鸞聖人座像

高田派はこの3カ寺が輪番制をとり触頭として幕府と本山との橋渡しをしていたそうです。また法主(佛光寺派では門主)が江戸に御下向されたときの宿寺としての役割も担っており、宗派の中心寺院として活躍されていたようです。

# 法語カレンダー 九月

わがところ  
よければ  
住生すべしと  
おもうべからず

「自分らしさ」と「自己肯定」の見分けが付かなくなった時代。意思表示や自己主張が大切にされる時代。そのような背景があつてか、物事や人の心を「わがところ」で判断して、逆恨みの京都アニメーションの放火。理解不能・・・。自分の物差しで様々なものをはかり、合わなければ切り捨てる。  
「わがところ」をアテにする恐ろしさと悲しき。「果たしてこの心を自分の力でコントロール仕切れるか？」親鸞聖人が先だつてこの壁に苦悩しておられる。犠牲者に対し合掌し、この問いを頂くほかない。

(山崎 哲)

You should not think that you deserve to attain birth because you are good.

### 語句説明

deserve：～を受けるに足る、価値がある  
attain：獲得する、到達する  
birth：出生、生まれ

### 一口メモ

「生まれることは必然、死ぬことは偶然」。  
「生まれることは偶然、死ぬことは必然」。私たちの思いはどちらでしょうか。また私たちのいのちの事実はどこでしょうか。

## 新責任役員のご紹介

西徳寺の最高議決機関であります責任役員に新しくご就任頂きました。新責任役員の方々を、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

責任役員は、寺則第14条～第19条の規定により、下記の通りです。

定数：代表役員(住職)を含む5名

任期：4年(平成31年4月2日就任)

大変永い間お世話になってまいりました、前責任役員 酒井眞一様・青柳庄一様は、任期満了に伴い退任され、今後は顧問としてご指導頂きます。

(代表役員 脇阪 義幸)



小田周太郎様 川村洋三様 今井正之様 磯田範雄様  
大谷最高顧問 脇阪住職

年間の墓地管理料・維持会費のご納入をお願いいたします。

## 中央ブロック会

去る7月28日(日)、西徳寺会館、梅檀の間におきまして中央ブロック会聞法会を開催しました。初めての方5名を含む24名の参加のもと、『正信偈』を共に学ばせていただきました。脇阪住職の法話では、仏法とは自分の現在地を知らせるはたらきがあると教えていただきました。また「幸せは」と書かれた紙が配られ、相田みつをさんの詩を紹介されながら、幸せとは何なのかを共に考える時間となりました。



た。茶話会では特別講演として、当会会員の石塚猛台東区区議会議員より台東区の区政について具体的に予算がどのように決められて、どのように使われているのか、普段聞けない貴重なお話をさせていただきました。

次回は**11月10日(日)、西徳寺**にて開催予定です。大勢のご参加お待ちしております。

(担当：蓮井 邦宗)



## 燈虹塾報告

7月27日土曜日、40名を超えるご参加を頂き、「玉菊灯籠～江戸吉原のデジタルサイネージ～」と題して、燈虹塾セミナーを開催しました。

日比谷代表からは玉菊灯籠の由来(玉菊という25歳の若さで亡くなった才色兼備な遊女の菩提の弔いに始まったと言われ、七月十五日になると家々が好みの灯籠を飾り、俄(にわ

か)や桜とならぶ風物詩となった)を教えて頂きました。風物詩になるまでの過程(裏話)に一同興味津々。商魂のたくましさを感じつつ、江戸吉原という町が様々なものをお祭りやイベントにかえるエネルギッシュな場所だったことが伝わってきました。

(燈虹塾事務局長：山崎 哲)



グループディスカッション



日比谷代表

## えこお志お礼

大和市 齊藤 祐三 様  
吉川市 筒井 将泰 様

ご浄財を頂戴いたしまして  
ありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもって  
お礼とさせていただきます。

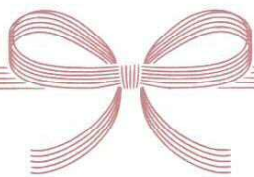


## 秋季永代経法要のご案内

7月の長雨、8月の酷暑が過ぎ今年も残すところ3か月となりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋とさまざまに形容される季節、共に聞法の秋を味わいませんか。どなたでも結構です。ぜひ本堂へお参りください。



秋季彼岸会 9月20日(金)～9月26日(木)  
秋季永代経法要 9月22日(日) 午後1時半～ 永代経法要  
午後2時～ 法話 (脇阪住職・蓮井邦宗)



## Relation ～縁～

Relation: 関係、関連、結びつき

今月号で江戸触頭について取材しました。恥ずかしながら私自身、今回触頭という言葉始めて知り、また自分が勤めている場所がかつてそういう責務を担っていたということすら知らずにいました。あらためて自分の知識の浅さ、常識の狭さを教えられました。宗派は違えども、共に親鸞聖人のみ教えをいただく身であることには何ら違いがないことを、今週の取材を通じて感じられたこと、私にとっては貴重なご縁となりました。

また今回の取材にあたりまして、突然の訪問にも関わらず快く取材に応じてくださいました各ご寺院様には、この誌面を借りまして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。(蓮井 邦宗 記)

1ヶ月の雨から突然の猛暑。劇的変化に対応するには時間がかかる。今年は熱中症が多いのはそのためだとか。我が家の朝顔が8月6日に一輪、やっとの思いで咲いてくれた。

日照不足と猛暑の影響で咲き乱れる姿が見られないのは残念だが、一輪がとても力強く美しい。私の「朝顔が咲いてるよ!」という一言に家を飛び出した娘が、その感動をさらに深めてくれた。

(山崎 哲 記)



えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook